



「子どもたちに平和な未来を2021」を開催しました！

3月12日に「子どもたちに平和な未来を2021」を新型コロナウイルス感染防止のため、Zoomによるオンラインで開催しました。

「子どもたちに平和な未来を」は千葉県内の4つの地域生協（パルシステム千葉・コープみらい・生活クラブ・なのはな生協）による実行委員会が主催し、会員生協の子どもたちに平和の大切さと核兵器の廃絶を訴える取り組みをしています。

2021年度は去年の好評だった Dialogue For People 副代表でフォトジャーナリストの安田菜津紀さんを再び講師にお迎えし、「平和のために、わたしたちが日本からできることは？～写真で伝える世界の人々の声～」というテーマでお話をさせていただきました。事前申し込みは61件82名（うち小中学生31名）、当日は60を超えるアクセスがありました。

今年の講演は、「いまだに戦争が続いている国の子どもたちの姿や、難民の方々が直面する困難などを写真で伝えながら、私たちが日本からできることを考えます。」という内容で、奇しくも現在の世界情勢にも通じる内容となりました。

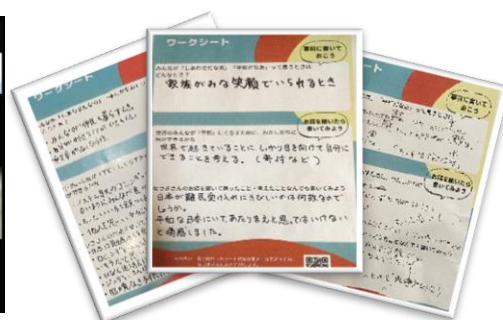
安田さんは、写真、また地図を使いながら戦争や紛争によって被害を受けた人々についてゆっくりと丁寧に子どもたちに説明をしていきました。「難民」については、どういった人々が「難民」なのか、日本での難民の状況など、子どもたち自身にも考えてもらえるように語りかけながらお話を進めていられました。

交流会では、安田さんの話を聞いた感想や質問、考えたことなど子どもたちはとても積極的に発言をしていました。

安田さんからは、「社会の仕組みをかえていかなければならないことがたくさんあるけれど、「知る」そして次に「知らせる」こと、つまり声をあげることによって社会は少しずつ変わっていくことができます。身近なところから輪を広げていってほしいと思います。」とメッセージをいただきました。



講師の安田菜津紀さん



参加者のみんなと、送ってもらったワークシート

以上